

2023年10月6日

報道各位

ニューホライズンキャピタル株式会社

リードプラス株式会社の株式譲渡について

ニューホライズンキャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役 安東 泰志、以下「NHC」）が運営するニューホライズン 3 号投資事業有限責任組合（以下総称して「弊社」）は、本日、リードプラス株式会社（本社 東京都世田谷区、代表取締役会長 小林治郎、代表取締役社長 堀裕、以下「リードプラス」）の弊社保有分の株式を、長田広告株式会社（本社 愛知県津島市、代表取締役会長 長田一郎、代表取締役社長 高林勝治、以下「長田広告」）へ譲渡いたしましたのでお知らせします。

リードプラスは、Web サイトの設計、構築からマーケティングオートメーションの導入、コンテンツ制作、運用等のインバウンドマーケティングサービスまで、デジタルマーケティング・サービスを一気通貫で提供している企業です。長田広告は、屋外看板広告事業で国内トップシェアを誇り、地域に根差して事業をされている数多くの顧客を全国に有しています。リードプラスが提供するオンライン広告と、長田広告が提供するオフライン広告とを連携したサービスを提供することで、より付加価値の高いサービスの提供が可能となります。長田広告はリードプラスの持続的な成長を支援可能な最適な相手であると判断し、今回の譲渡を決定いたしました。

弊社は、インターネット広告代理店事業を展開する株式会社ローカルフォリオと、コンテンツマーケティングの戦略立案から実行・測定・改善まで提供するリードプラス株式会社の経営統合を主導し、デジタルマーケティングの上流から下流まで一気通貫で提供する企業として持続的に発展できるよう支援してまいりました。

リードプラスが長田広告の支援を得て、今後更なる成長を実現することを祈念いたします。

以上

ニューホライズンキャピタル株式会社について

2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006年10月の会社分割を経て、通算20年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,700億円超）を誇る。現在は、NHCとして6本目、創業から10本目のファンドを運営中。2002年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするNHCのチームメンバーは、フェニックス・キャピタルにおいて、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ等、また、ニューホライズン1号から4号ファンドにおいても多数の投資を実行し、ハウステック、シバウラ防災製作所、昭和コーポレーション、NITTO/平世美装等、開示可能なエクイティ投資先だけで約50社、全体では100社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先（弊社広報担当）：

インターナショナル・ファイナンシャル・コンサルティング株式会社

竹江、高杉 連絡先：03-5532-8921